

歴史のとらえ方と調べ方

第1章 古代国家の成立と東アジア①

p.2

Step 1

- ① 西暦 ② 世紀 ③ 元号 ④ 猿人 ⑤ 原人
 ⑥ 打製石器 ⑦ 磨製石器 ⑧ インダス文明
 ⑨ 縄文土器 ⑩ 弥生土器 ⑪ 邪馬台国
 ⑫ 前方後円墳 ⑬ ヤマト王権

p.3-5

Step 2

- ① ① キリスト ② 100年
 ③ 13世紀 ④ 18世紀
 ② A 近世 B 奈良時代 C 平安時代
 ③ ① 12 ② 14
 ② ① A 直立 B 道具 C 火 D 打製 E 土器
 F 磨製
 ② 新人
 ③ 例 脳の容積がだんだんと大きくなっていった。
 ③ ① A エジプト文明 B メソポタミア文明
 C インダス文明 D 中国文明
 ② ①, ②
 ③ ① 甲骨文字 ② 孔子 ③ 秦
 ④ ポリス
 ⑤ ①
 ④ ① A 仏教 B キリスト教 C イスラム教
 ② ① C ② A ③ B
 ⑤ ① A 銅鐸, ㊦ B 弥生土器, ㊧
 C 土偶, ㊨ D 高床倉庫, ㊩
 ② 邪馬台国
 ⑥ ① 百済, 加羅
 ② Y
 ③ 大仙 (大山) 古墳
 ④ 大王
 ⑤ 渡来人

考え方

- ① ① 西暦とは世界で一般に使用されている年代の表し方で、キリストが生まれたとされる年を基準に、それ以前を紀元前(B.C.) ○○年、それ以後を紀元(A.D.) ○○年と表す。紀元やA.D.は省略して表すことが多い。
 ④ 1年から始まり100年で終わるのが1世紀なので、1800年は18世紀で、1801年は19世紀となる。
 ② 「古代」「中世」「近世」「現代」という時代区分は、人々の暮らしのあり方や、社会のしくみによって時代を大きくとらえた区分である。
 ③ 年表から鎌倉時代は1100年代の末から1300年代初めまでを指しているの、世紀で表すと、「12世紀末から14世紀初め」となる。
 ② ① ② 人類は猿人→原人→新人と進化してきた。直立歩行をした猿人に対し、原人は火・言葉・打製石器を使用。さらに新人は磨製石器や土器を使用した。
 ③ 人類は進化の過程で脳の容積が大きくなっていき、言葉を使うようになり、使用する道具も高度なものになっていった。
 ③ ② 古代文明は、大河流域におこり、祭りや戦いに用いる青銅器が作られ、記録用に文字が使われた。
 ③ ① 殷(商)では、戦争や農業などを占った結果を亀の甲や牛の骨に、甲骨文字で記録した。
 ④ 地図中のXはギリシャを指す。ギリシャでは紀元前8世紀ごろからポリスとよばれる都市国家が生まれた。
 ⑤ ローマにおける共和政の誕生は紀元前3世紀初め。紀元前1世紀終わりになると、皇帝が支配する帝政となった。

- ④ ① ② キリスト教はパレスチナから主にヨーロッパに広まり、イスラム教はアラビア半島から北アフリカと中央アジアへ広まった。インドで生まれた仏教は東南アジア・東アジアへと広まった。
- ⑤ ① Aは銅鐸で、弥生時代に祭りの道具として使われた青銅器である。Cは土偶で、縄文時代にまじないに使われた土製の人形である。
- ② 「魏志」倭人伝には、3世紀に卑弥呼が治めた邪馬台国の記述がある。また、紀元前1世紀ごろの様子は、漢の歴史書『漢書』に記録されている。
- ⑥ ① ヤマト王権は加羅（伽耶）地域と結び付き、百済に協力して高句麗や新羅と戦った。
- ② 朝鮮半島での戦いに敗れたヤマト王権は、地図中のYにあたる南朝へ使いを送り、朝鮮半島諸国に対して優位に立とうとした。
- ④ ワカタケルは「大王」と名乗り、国内統一を目指した。「大王」は後に「天皇」とよばれるようになる。
- ⑤ 中国や朝鮮から移住してきた人々を渡来人という。土器（須恵器）や鉄器、機織り、漢字などの技術を日本に伝えた。

p.6-7

Step 3

- ① ① ① 猿人 ② 原人
- ② 記号ア 名前 打製石器
- ③ 例 岩宿遺跡で、打製石器が発見されたから。
- ④ ① エジプト文明 ② 中国文明
③ インダス文明 ④ メソポタミア文明
- ⑤ ポリス ⑥ 帝政
- ⑦ ムハンマド
- ② ① ① 土偶 ② 貝塚 ③ 石包丁 ④ 高床倉庫
⑤ 卑弥呼
- ② 例 ムラどうしの争いが生じるなかで、有力なクニ（国）が出現した。
- ③ ア ④ C ⊕ D ⊖ E ⊕
- ③ ① A 高句麗 B 百済
- ② ヤマト王権
- ③ ⊕ ④ 大仙（大山）古墳
- ⑤ 前方後円墳
- ⑥ a ⑦ 大王

考え方

- ① ① 人類は約700万年前にアフリカで誕生したと考えられ、猿人→原人→新人と進化していった。
- ② ① は表面がなめらかなので、新人が使うようになった磨製石器である。
- ③ 日本列島には旧石器時代がなかったと考えられていたが、岩宿遺跡（群馬県）から打製石器が発見されたため、旧石器時代が存在していたことがわかった。ここでは、「岩宿遺跡から打製石器が発見された」ことが書いてあれば正解。
- ④ キーワードから文明を考えよう。ピラミッド→エジプト文明、甲骨文字→中国文明、モヘンジョ＝ダロ→インダス文明、くさび形文字→メソポタミア文明。
- ⑥ ローマの政治は、紀元前3世紀初めに共和政、地中海沿岸全域を支配した紀元前1世紀終わりには帝政へと変わった。
- ② ② 弥生時代になると、ムラどうしで土地や水をめぐる争いが起こり、有力なムラがまわりのムラをまとめてクニ（国）となっていった。
- ③ 中国が漢の時代の歴史書『漢書』には、紀元前1世紀ごろの倭（日本）の様子が記録されている。
- ③ ① ② Aは3～4世紀ごろ朝鮮半島北部を支配した高句麗、Bの百済とヤマト王権は協力して高句麗や新羅と戦った。
- ③ 中国は大きな力を持っていたため、ヤマト王権は中国の南朝の権威を借りて、朝鮮半島より優位に立ち、鉄を確保することを考えた。
- ④ ⑤ 3世紀末になると各地に古墳が出現した。前部が方墳、後部が円墳の形をした古墳を前方後円墳とよぶ。写真Ⅰの古墳は大阪府堺市にある大仙（大山）古墳である。
- ⑥ ⑦ 写真Ⅱの鉄剣は埼玉県の稲荷山古墳で出土し「獲加多支鹵大王」と書かれている。同様の鉄刀が熊本県の江田船山古墳でも発見されており、ヤマト王権の力が関東地方から九州地方まで及んでいたことがわかる。

第1章 古代国家の成立と東アジア②

p.8

Step 1

- 1 蘇我氏 2 十七条の憲法 3 遣隋使
 4 大化の改新 5 大宝律令 6 平城京
 7 口分田 8 墾田永年私財法 9 租
 10 『古事記』 11 摂関政治 12 『源氏物語』
 13 『枕草子』 14 平等院鳳凰堂

p.9-11

Step 2

- 1 1 隋
 2 聖徳太子 (厩戸王) 3 ㊦
 4 十七条の憲法
 5 遣隋使
 6 法隆寺
 2 1 1 壬申の乱 2 大宝律令 3 大化の改新
 2 遣唐使
 3 C → A → B
 3 1 平城京
 2 ㊦
 3 1 班田収授法 2 口分田
 3 墾田永年私財法
 4 1 天平文化
 2 正倉院
 3 遣唐使
 4 東大寺
 5 『古事記』『日本書紀』
 6 『万葉集』
 5 1 1 桓武天皇 2 蝦夷
 2 平安京
 3 坂上田村麻呂
 4 1 藤原氏 2 摂関政治
 3 藤原道長, 藤原頼通
 6 1 国風 2 寝殿造 3 かな文字
 4 源氏物語 5 枕草子 6 古今和歌集
 7 天台宗 8 眞言宗

考え方

- 1 1 南北に分かれていた中国では、6世紀末に隋が国内を統一した。
 2 3 聖徳太子は、冠位十二階の制度で、家柄にとらわれていた役人登用制度を改めた。

- 4 聖徳太子は十七条の憲法を定め、役人の心構えを示した。
 5 聖徳太子は、隋の進んだ政治のしくみや文化を取り入れるために、小野妹子らを遣隋使として派遣した。
 6 写真は法隆寺である。聖徳太子が建てたと伝えられ、現存する最古の木造建築として有名である。
 2 1 Aは、672年の壬申の乱に勝利した天武天皇のこと。Bは、701年に制定された大宝律令。Cは、645年に中大兄皇子(後の天智天皇)と中臣鎌足(後の藤原鎌足)らが蘇我氏を倒し、大化の改新を進めたことが書かれている。
 2 7世紀初め、中国では隋が滅び唐が国内を統一したため、遣隋使は遣唐使と名前を変えた。唐は律と令を基にした律令政治を行っており、朝廷も律令のしくみを学んだ。
 3 1 2 710年に始まった奈良時代は、天皇中心の律令国家を築くために、税と土地制度を中心にしくみを整えていった。
 3 1 朝廷は6年ごとに戸籍を作り、人々(公民)に土地(公地)を与える班田収授法を定めた。
 2 6歳以上の男子には2段(約2300㎡)、女子にはその3分の2が口分田として与えられた。
 3 班田収授法では口分田を与えられた者が亡くなると土地を国へ返さなければならなかった。しかし、人口増加とともに口分田が不足すると墾田永年私財法を出して、新たに開墾した土地は永久に自分のものにしてよいとした。
 4 1 2 3 奈良時代の文化を天平文化とよび、聖武天皇の身の回りの品々が、正倉院に収められていた。なかにはペルシャ産の杯(瑠璃杯)やインド産の木材で作られた琵琶(螺鈿紫檀五絃琵琶)など、遣唐使が持ち帰った品もある。
 4 聖武天皇は仏教の力で国を守ろうと、国ごとに国分寺と国分尼寺を置き、中央の都には東大寺を建て、大仏を置いた。

- 5 ① ② 桓武天皇は律令の及ばない東北地方に住む蝦夷とよばれる人々を支配するために軍を派遣した。
- 3 征夷大將軍とは、蝦夷を征伐するために朝廷が任命した將軍のことである。後の源氏や足利氏、徳川氏も征夷大將軍に任命されるが、これらは武家の頭という意味である。
- 4 9世紀になると貴族の藤原氏が力を増していき、摂政と関白に就いて政治の実権を握った。このような政治を摂関政治という。特に藤原道長と頼通父子のころ最も栄えた。
- 6 平安時代になると、紫式部や清少納言のよくなかな文字を使った女性による文学が生まれた。最澄と空海が開いた仏教は山奥での修行や学問を重視し、密教とよばれる。

p.12-13

Step 3

- 1 ① 聖徳太子 (厩戸王) ② 桓武天皇
- 2 十七条の憲法
- 3 遣隋使 4 白村江の戦い
- 5 大宝律令
- 6 ① 口分田 ② 租 ③ 雑徭
- 7 例 墾田永年私財法が定められて、土地の永久所有が認められたから。
- 2 ① 藤原道長
- 2 ㊦, ㊧
- 3 摂関政治
- 4 菅原道真
- 5 例 唐の勢力が衰え、危険を冒してまで使者を派遣する必要はないと考えられたため。
- 3 ① A ㊦ B ㊦ C ㊦
- 2 C
- 3 D
- 4 ① かな文字 ② 紫式部 ③ 古今和歌集
- 5 ① 天台宗 ② 真言宗
- 6 A 飛鳥文化 B 天平文化 C ~E 国風文化

考え方

- 1 ② 聖徳太子は、十七条の憲法で仏教を敬うように定めている。
- 3 聖徳太子は、小野妹子らを遣隋使として隋に派遣した。

- 4 倭国が唐・新羅の連合軍との戦いで大敗したのは、663年の白村江の戦いである。その後、朝鮮半島は新羅によって統一された。
- 5 701年に制定された大宝律令によって、天皇を頂点とする律令国家が成立した。
- 6 奈良時代、税を集めるために班田収授法が定められ、家族ごとに口分田を与え、土地を与えられた農民に租などの税や、雑徭などの労役が課せられた。
- 7 743年に制定された法令とは墾田永年私財法である。新たな開墾地であれば永久に自分のものとなるため、貴族や寺社は開墾に力を入れ、私有地を独占していった。これが荘園である。ここでは、「墾田永年私財法が定められた」「土地の永久所有が認められた」ことが書いてあれば正解。

- 2 ① ② 藤原道長は、自分の娘を天皇の后にして親戚関係となり、娘に子が生まれると天皇にして、実際の政治は祖父の道長が行った。
- 3 藤原氏の多くは、天皇が幼いときは摂政となり、成人後は関白に就いて、天皇の代わりに政治を行った。このような政治を摂関政治という。
- 4 ⑤ 菅原道真は唐が衰えている現状を見て、朝廷に遣唐使の停止を提案した。ここでは、「唐の勢力が衰えた」「危険を冒してまで行く必要性がない」ことが書いてあれば正解。
- 3 ① A は聖徳太子が建てたと伝わる法隆寺。B は聖徳天皇の身の回りの品々が収められていた正倉院。C は藤原頼通が極楽浄土をこの世に再現しようとして建てた平等院鳳凰堂。
- 3 ① D は平安時代の貴族の住居である寝殿造である。
- 4 かな文字は国風文化の特徴を表すもので、中国から伝わった漢字をもとに、日本語の発音を表現しやすくした文字である。特に女性が使う文字として広まり、紫式部や清少納言がかな文字で作品を書いた。
- 5 最澄も空海も遣唐使とともに唐に渡って仏教を日本に伝えた。最澄は天台宗、空海は真言宗を開き、ともに密教とよばれる。

第2章 武家政権の成長と東アジア①

p.14

Step 1

- ① 奥州藤原氏 ② 院政 ③ 保元の乱
 ④ 鎌倉幕府 ⑤ 御家人 ⑥ 執権政治
 ⑦ 承久の乱 ⑧ 金剛力士像 ⑨ 北条時宗
 ⑩ 徳政令 ⑪ 建武の新政 ⑫ 勘合貿易
 ⑬ 琉球王国 ⑭ アイヌ文化

p.15-17

Step 2

- ① ① 武士団
 ② ① 藤原純友の乱 ② 保元の乱
 ③ 平将門の乱 ④ 平治の乱
 ③ 日宋貿易
 ④ 壇ノ浦
 ② ① ① 守護 ② 地頭 ③ 執権
 ② 御家人
 ③ 承久の乱
 ④ 御成敗式目 (貞永式目)
 ③ ① ①
 ② ② ① ③ カ ④ ㊦ ⑤ ア ⑥ ㊥ ⑦ ㊤
 ⑧ キ ⑨ ケ ⑩ ク ⑪ ク
 ④ ① モンゴル帝国
 ② 北条時宗
 ③ 例 幕府は御家人を救うために徳政令を出したが、効果がなく、幕府と御家人の関係は弱くなった。
 ⑤ ① ① 足利尊氏 ② 足利義満
 ② 悪党
 ③ 建武の新政
 ④ ア
 ⑤ 管領
 ⑥ ① 倭寇
 ② 勘合貿易
 ③ 琉球王国
 ④ アイヌ (の人々)

考え方

- ① ① 武士は一族の長を中心に従者たちを率いて、さらに他の有力者と手を結んで武士団を作った。

② 12世紀半ばに起きた二つの乱を混同しないようにしよう。院政の実権をめぐる争いで朝廷内が二つに分かれ、源義朝や平清盛らが活躍したのは保元の乱。後白河上皇の政権内で争いが起こり、源義朝が平清盛に敗れたのは平治の乱である。

③ 平治の乱で勝利した平清盛は、武士として初めて朝廷の最高位である太政大臣となり、政権を握った。日宋貿易によって経済的基盤を築いた。

④ 源氏を中心とする平氏に不満を持つ武士が平氏を追討し、壇ノ浦の戦い(山口県)で平氏は滅んだ。

② ① 源頼朝は1185年、全国に守護と地頭を置き、1192年に征夷大将軍に任命された。

② 幕府の家来となることを誓った武士を御家人とよび、幕府とは御恩と奉公の関係で結ばれていた。

③ 朝廷で院政を行っていた後鳥羽上皇は幕府を倒すために兵を挙げたが、幕府軍に敗れ、隠岐国(島根県)に流された。これを承久の乱という。

④ 公正な裁判を行うための武士独自の法として、執権の北条泰時は御成敗式目(貞永式目)を制定した。

③ ② 鎌倉時代に開かれた新しい仏教は二つに分けて覚えよう。一つは平易で誰でも信仰できる、浄土宗、浄土真宗、時宗。もう一つは厳しい修行が必要で、武士が広く信仰した禅宗(臨済宗・曹洞宗)、日蓮宗。

④ ① ② 13世紀、モンゴル高原に現れたチンギス=ハンはモンゴル帝国を築き、その子孫は東ヨーロッパまで領土を広げた。チンギス=ハンの孫のフビライ=ハンは領土拡大の一環で、執権北条時宗のときに九州北部に二度襲来したが、御家人の抵抗と暴風雨などで退却した。

③ ここでは「幕府は御家人を救うために徳政令を出したが、効果がなかった」「御家人と幕府の関係が弱まった」ことが書いてあれば正解。

- 5 2 御家人が幕府の家来なのに対し、幕府に従わない武士は悪党とよばれ、幕府を倒す後醍醐天皇につく者が多かった。
- 3 4 鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇の政治を建武の新政という。新政は足利尊氏らの批判を浴び、わずか2年半で崩れた。
- 6 1 2 明が発行する勘合は、一種の通行証明書である。片方を日本の貿易船が持ち、明にあるもう片方の勘合と合えば正式な貿易船だと認められた。
- 3 琉球王国は、明や東南アジアとの中継貿易を行っていた。
- 4 日本列島の北端では、アイヌの人々が樺太や大陸のアムール川流域と交易を行っていた。

p.18-19

Step 3

- 1 1 建武の新政
- 2 御成敗式目 (貞永式目)
- 3 院政
- 4 ㊥
- 5 ㊦
- 6 フビライ=ハン
- 7 A ㊀ B ㊥ C ㊦ D ㊧
- 8 B → C → D → A
- 2 1 ① 金剛力士像 ② 平家物語 ③ 方丈記
- ④ 徒然草
- 2 運慶
- 3 a ㊀ b ㊀ c ㊥
- 3 1 a ㊦ b ㊦ c ㊥ d ㊀ e ㊀
- 2 例 承久の乱のように、京都の朝廷が幕府に抵抗することを防ぐため。
- 3 ① 御家人 ② お御恩 ③ 奉公
- 4 ① 足利義満 ② ㊥

考え方

- 1 1 鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇は建武の新政を行ったが失敗し、わずか2年半で終わった。
- 2 執権の北条泰時は、公正な裁判を行うために御成敗式目 (貞永式目) を制定した。この法は後の武家政治の基準となった。

- 3 11世紀後半になると、藤原氏と血縁関係が薄い後三条天皇、続いて白河天皇が即位した。白河天皇は位を皇子に譲り、自分は上皇となって院政を行った。
- 4 平治の乱で平清盛は源義朝を倒し、義朝の子の頼朝は伊豆 (静岡県) に流された。
- 5 平清盛は宋との貿易 (日宋貿易) を行い、経済的基盤とした。
- 6 中国を統一して元を建てたのは、チンギス=ハンの孫のフビライ=ハンである。
- 2 1 鎌倉時代には東大寺南大門の金剛力士像や『平家物語』などの武士の気質に合った文化や、『方丈記』『徒然草』のようなわかりやすい芸術が栄えた。
- 2 運慶・快慶らの仏像を専門に作る仏師によって、金剛力士像が作られた。
- 3 浄土宗や浄土真宗、時宗が庶民の間に広まったのに対し、臨済宗や曹洞宗などの禅宗や日蓮宗などの、厳しい修行によって悟りを開く仏教は武士の間に広まっていった。
- 3 1 a は鎌倉幕府における将軍の補佐役で執権である。d は室町幕府における将軍の補佐役で管領である。
- 2 承久の乱は後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒して、天皇中心の政治にもどそうとした乱である。この戦いに勝った幕府は京都の朝廷を監視するために六波羅探題を置いた。ここでは「承久の乱のように、朝廷が幕府に抵抗することを防ぐ」または「承久の乱のような抵抗が起きないように監視する」ことが書いてあれば正解。
- 3 将軍 (幕府) と御家人は、手柄に応じて領地や守護・地頭の職を与える御恩と、合戦に備え、京都や鎌倉の警備をする奉公の関係で成り立っていた。
- 4 室町幕府の3代将軍足利義満は、明との貿易によって、富を築いた。日明貿易は、倭寇と区別するために勘合とよばれる通行証明書が使われたことから、勘合貿易ともよばれる。

第2章 武家政権の成長と東アジア②

第3章 武家政権の展開と世界の動き①

p.20

Step 1

- 1 定期市 (ていきいち)
- 2 問 (問丸) (としまる)
- 3 一向一揆 (加賀の一向一揆) (いっこういっき) (かが)
- 4 座 (ざ) (しよいんづり)
- 5 応仁の乱 (おうにんのらん) (せんごくだいみょう)
- 6 戦国大名 (せんごくだいみょう)
- 7 金閣 (きんかく)
- 8 書院造 (しよいんづり)
- 9 水墨画 (すいぼくが)
- 10 十字軍 (じゅうじくん)
- 11 宗教改革 (しゅうきやうかいかく)
- 12 バスコ=ダ=ガマ
- 13 鉄砲 (てつぱう)
- 14 フランシスコ=ザビエル

p.21-23

Step 2

- 1 1 定期市
- 2 A ⊕ B ⊖
- 3 馬借 (ばしやく)
- 4 ア, ⊕
- 2 1 正長の土一揆 (しょうちやうどいっき)
- 2 寄合 (よりあい)
- 3 座
- 3 1 1 足利義政 (あしかがよしまさ)
- 2 応仁の乱
- 2 下剋上 (げこくじやう)
- 3 1 1 戦国大名 (せんごくだいみょう)
- 2 分国法 (ぶんこくほう)
- 3 城下町 (じやうかまち)
- 4 1 1 金閣 (きんかく)
- 2 世阿弥 (ぜあみ)
- 3 狂言 (きやうげん)
- 4 銀閣 (ぎんかく)
- 5 雪舟 (せつしゆ)
- 2 書院造
- 5 1 十字軍 (じゅうじくん)
- 2 ローマ教皇 (法王) (きやうこう)
- 3 ルネサンス
- 4 ルター
- 5 プロテスタント
- 6 イエズス会
- 6 1 A ⊕ B ⊕ C ⊖
- 2 香辛料 (かうしんりやう)
- 3 大航海時代 (たいかうかい)
- 4 鉄砲 (てつぱう)
- 5 フランシスコ=ザビエル

考え方

- 1 1 農業の生産性が向上し、職人の種類が増えた室町時代は、毎月決められた日に開かれる定期市が、それまでの月3回から6回に増えた。

- 2 歴史絵をよく観察して、当時の市の様子をかくにん確認しましょう。
- 3 馬に荷物を運ばせる運送業者を馬借、牛などに車を引かせるのは車借という。
- 4 ① 水車やため池を造るなど、用水確保の技術が進んでいたのが誤り。
- ② 米以外にも茶や藍、麻の栽培なども広まっていたのが誤り。
- 2 1 近江国の馬借が中心となり、幕府に徳政令による借金の帳消しを要求したのは、正長の土一揆である。
- 2 室町時代は村の自治も進み、寄合では、独自におきてを作ったり、罪を犯した者を処罰したりした。
- 3 商工業者は利益を得るために、座とよばれる同業者の団体を作り、有力な公家や寺社に税を納めて、営業の独占権を得た。
- 3 1 応仁の乱によって京都の広い範囲が焼け野原となり、室町幕府の力は衰えた。
- 3 ① 下剋上の風潮が広まると、各地に幕府の支配から放れて、独自の領国支配を行う者が現れた。これを戦国大名という。
- ② 戦国大名は領国を統制するために分国法を定めた。
- ③ 北条氏の小田原城、朝倉氏の一乗谷城など、城を中心にした町を城下町という。
- 4 1 室町時代の文化は、足利義満のころの北山文化と、義政のころの東山文化に分類できる。
- 2 銀閣に取り入れられた書院造は、現代の和風建築の基本となった。
- 5 1 2 11世紀ごろのヨーロッパは、カトリック教会の首長であるローマ教皇(法王)の力が絶大であった。教皇はイスラム勢力の中にあるキリスト教の聖地エルサレムを奪い返すために、数度にわたり十字軍を派遣した。
- 3 ルネサンスは16世紀に最盛期を迎え、多くの芸術作品が残された。
- 4 5 十字軍の失敗の後、カトリック教会の権威は衰えた。ドイツのルターは宗教改革を行い、新しいキリスト教の道を開いた。ルターの考えを支持したキリスト教徒はプロテスタントとよばれる。

- ⑥ 宗教改革に対抗して、カトリック教会もイエズス会を設立し、海外布教に力を入れた。
- ⑥ ① C ② マゼラン一行は5隻の艦隊でスペインを出港した。約3年の航海で、マゼランは途中の戦いで亡くなり、残った20名ほどが帰国して世界一周を達成した。
- ② ヨーロッパ人にとって香辛料などのアジアの産物は貴重品だったため、直接入手できる航路が必要だった。
- ④ ⑤ 新航路が発見されると、スペインとポルトガルが競うように海外に進出した。そして、種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲が伝えられ、イエズス会のフランシスコ・ザビエルはキリスト教を伝えた。

p.24-25

Step 3

- ① ① A 正長の土一揆 B 加賀の一向一揆
- C 山城の国一揆
- ② 馬借 ③ 惣(惣村)
- ④ 応仁の乱
- ⑤ 例 下の身分の者が上の身分の者を実力で倒すこと。
- ⑥ 戦国大名
- ② ① 水墨画
- ② 雪舟 ③ 書院造
- ④ 銀閣
- ⑤ 例 畳が敷き詰められている。
- ⑥ お伽草子
- ③ ① ① C ② A ③ B
- ② A コロンブス B パスコ=ダ=ガマ C マゼラン(一行)
- ③ 例 海のルートなら、イスラム教の国々を通らないで、香辛料が手に入るため。
- ④ X スペイン Y ポルトガル
- ⑤ 南蛮貿易
- ⑥ 種子島 ⑦ イエズス会

考え方

- ① ① 100年にわたって自治を行ったのは加賀の一向一揆で、8年間にわたって自治を行ったのは山城の国一揆なので、間違えないようにしよう。

- ② 馬を使った運送業者は馬借である。牛などに車を引かせるのは車借という。
- ③ 近畿地方には、農民が団結して地域の運営を自分たちで行う惣(惣村)が出現した。
- ④ 応仁の乱は11年間続き、京都の広い範囲は焼け野原となった。乱の後、室町幕府の力がおよぶ範囲は山城国(京都府)周辺のみとなった。
- ⑤ ここでは「下の身分の者が上の身分の者を実力で倒す」ことが書いてあれば正解。
- ⑥ 室町幕府の力が弱まり、下剋上の風潮が全国に広まると、実力で領国を治める戦国大名が登場した。
- ② ① ② 雪舟は明にわたり水墨画を学ぶと、帰国後は大胆な画風による作品を残した。
- ③ ④ 銀閣の敷地にある東求堂同仁斎には書院造が取り入れられている。
- ⑤ 「畳が敷き詰められている」「障子がある」「違い棚が置かれている」のうち一つが書かれていれば正解。違い棚とは、資料IIの左奥に設置されている段違いの棚である。
- ⑥ 室町時代には庶民向けのお伽草子とよばれる絵入りの物語が作られた。
- ③ ① アフリカ最南端の「喜望峰」は、新航路が発見された後、ポルトガル王が名付けた。また、「太平洋」はマゼランが名付けた。コロンブスが到達したアメリカ大陸に連なる諸島は、インドだと誤解したことから「西インド諸島」と名付けられた。
- ③ ヨーロッパ人にとって価値のあるアジア産の香辛料は陸路で運ばれてきたが、イスラム商人を通すため高価になった。ここでは「海路なら、イスラム教の国々を通らないで、香辛料が手に入る」ことが書いてあれば正解。
- ④ スペインとポルトガルは競って新大陸へ進出した。中南米の太平洋側はスペインが侵略し、南アメリカの大西洋側はポルトガルが侵略した。
- ⑤ ポルトガルやスペインとの貿易を南蛮貿易という。
- ⑦ 十字軍の失敗と宗教改革によって衰えたカトリック教会はイエズス会を設立し、海外への布教に力を入れた。

第3章 武家政権の展開と世界の動き②

p.26

Step 1

- ① 織田信長 ② 楽市・楽座 ③ 豊臣秀吉
 ④ 刀狩 ⑤ 太閤検地 ⑥ 桃山文化 ⑦ 南蛮文化
 ⑧ 徳川家康 ⑨ 参勤交代 ⑩ 朱印船貿易
 ⑪ 島原・天草一揆 ⑫ 出島 ⑬ 朝鮮通信使
 ⑭ シャクシャイン

p.27-29

Step 2

- ① ① 室町幕府
 ② a ① b ㊦
 ③ 鉄砲
 ④ ① 琵琶湖 ② 楽市・楽座
 ⑤ 明智光秀
 ② ① 刀狩令
 ② 太閤検地
 ③ ①
 ④ 朝鮮
 ③ ① ①
 ② ② 狩野永徳 ③ 千利休 ④ 南蛮
 ④ ① 江戸幕府
 ② 徳川家康
 ③ 老中
 ④ 武家諸法度
 ⑤ 徳川家光
 ⑥ ㊦
 ⑤ ① 朱印船貿易
 ② ㊦, ㊧
 ③ A ㊦ B ① C ㊦ D ㊦
 ④ 清
 ⑤ 朝鮮通信使
 ⑥ 出島
 ⑥ ① ① 琉球王国 ② アイヌ
 ② 慶賀使
 ③ シャクシャイン

考え方

- ① ① 桶狭間の戦いに勝利した織田信長は、足利義昭を将軍としたが、その後、義昭を幕府から追放して室町幕府を滅ぼすと、実権を握った。

- ② ③ 桶狭間の戦いで今川義元を破り、長篠の戦いでは、大量の鉄砲を効果的に使って武田勝頼を倒した。
 ④ 信長は琵琶湖の近くに安土城を築き、城下では楽市・楽座を行って座をなくし、市場での税を免除して商工業を活発にした。
 ⑤ 信長は家臣の明智光秀に京都の本能寺で攻められ、自害した。備中高松城(岡山県)で戦いをしていた豊臣秀吉は、すぐにもどり、光秀を討つと、信長のあとを引き継いだ。
 ② ① ② 秀吉は刀狩令を出し、百姓の抵抗する手段を奪い、さらに、全国規模の太閤検地を行うことで、確実に年貢を集めるしくみを作った。
 ③ 刀狩と検地によって、武士と百姓の身分を区別する兵農分離が進んだ。
 ④ 明の征服を考えた秀吉は朝鮮に協力を求めたが拒否されたため、二度にわたり大軍を派遣した。
 ③ ① ② 安土城や大阪城などの巨大な城は、安土桃山時代を代表する建築物で、内部にも狩野永徳や狩野山楽らの華やかな装飾画が置かれた。
 ④ ① ② 関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、1603年に朝廷から征夷大将軍に任命され、江戸に幕府を開いた。
 ③ 幕府政治を取りまとめるのが老中である。老中は将軍が任命し、補佐役として若年寄が就いた。
 ④ ⑤ 幕府は武家諸法度を定め、大名が幕府に抵抗できないようにした。通常、将軍の代が代わるごとに追加され、3代将軍家光のときに参勤交代の制度が加わった。
 ⑥ 幕府は京都所司代を置いて、朝廷を監視した。
 ⑤ ① ② 家康は東南アジアと朱印船貿易を行い、貿易を統制した。しかし、キリスト教が幕府の支配を妨げ、スペインやポルトガルが日本を侵略する危険があることから、幕府は鎖国政策をとった。この政策によって、幕府は貿易と外国の情報を統制し、キリスト教を抑え込もうとした。

- ④ 幕府が鎖国政策を行ったところ、清が中国を統一した。
- ⑤ 幕府と朝鮮の交流は対馬の宗氏が担当し、主に将軍が代わるごとに朝鮮通信使とよばれる400~500名の使節団が訪れた。
- ⑥ 幕府は出島にオランダ商館を移し、貿易業務を行った。また幕府は海外の情報を集めたオランダ風説書を提出させ、海外情報を独占しようとした。
- ⑥ ② 薩摩藩に支配されていた琉球王国は、将軍が代わるごとに慶賀使とよばれる使節を幕府に派遣した。
- ③ アイヌの人々と交易を行っていた松前藩は、不平等な交易を行っていたため、1669年にアイヌの人々はシャクシャインを中心に立ち上がって戦ったが、松前藩に敗れた。その後は松前藩が交易の主導権を握るようになった。

p.30-31

Step 3

- ① ① 関ヶ原の戦い ② 安土城 ③ 朝鮮
- ② 朱印船貿易
- ③ 長篠の戦い
- ④ 刀狩
- ⑤ 検地
- ⑥ 例 武士と百姓の身分が区別される兵農分離が進んだ。
- ⑦ A 徳川家康 B 織田信長 C 豊臣秀吉
- ⑧ 千利休
- ② ① 譜代大名 ② 親藩 ③ 外様大名
- ② 例 幕府への反抗を防ぐために、江戸や京都などの重要な場所から遠くに配置された。
- ③ 武家諸法度
- ④ 参勤交代
- ⑤ 幕藩体制
- ③ ① オランダ、中国 (清)
- ② 朝鮮通信使
- ③ 琉球王国
- ④ アイヌ (の人々)
- ⑤ ① → ㉞ → ㉟ → ㊱
- ⑥ 例 キリシタンを見つけるために絵踏をして

考え方

- ① ① Bの「天下布武」とは、武力で天下を統一するという意味で、織田信長は武力で勢力を広げていった。
- ② 江戸幕府を開いた徳川家康は東南アジアと貿易を行った。貿易をする大名や豪商に朱印状とよばれる渡航許可証を与えたことから、この貿易を朱印船貿易という。
- ③ 長篠の戦い以降、合戦は鉄砲を使う戦いへと変化していった。
- ④ 百姓の武器による抵抗を防ぐために刀狩を行い、これによって百姓は土地にしばりつけられるようになった。
- ⑤ 写真は検地の様子である。それまでもいろいろな大名によって検地が行われてきたが、豊臣秀吉の検地は統一した物差しや升で全国を測量したことから、太閤検地とよばれる。
- ⑥ 刀狩と検地によって、百姓と武士は切りはなされ兵農分離が進んだ。ここでは「兵農分離が進んだ」ことが書いてあれば正解。
- ⑦ 信長が天下統一の基礎を作り、秀吉が完成させ、家康がその後の全国支配を固めた。
- ⑧ 千利休は信長、秀吉に仕えた茶人である。
- ② ② 新しく家臣となった外様大名の中には、伊達氏、前田氏、島津氏などの有力な大名がいた。ここでは「幕府への反抗を防ぐために、遠くに配置された」ことが書いてあれば正解。
- ③ ④ 3代将軍家光のとき参勤交代の制度が加わった。大名は1年ごとに江戸と領地を行き来し、妻や子は江戸に住まわせることで、経済的に抵抗できないようにした。
- ⑤ 大名が支配する領域を藩とよび、幕府と藩が全国を治めるしくみを幕藩体制とよぶ。
- ③ ① Aの長崎では、キリスト教を広める恐れのないオランダと中国のみ貿易が許された。
- ② Bは対馬で、主に将軍が代わるごとに派遣される朝鮮通信使の窓口となっていた。
- ③ Cの薩摩は、琉球王国の貿易の窓口である。
- ④ Dの松前は、蝦夷地(北海道)のアイヌの人々との交易を担当した。

- 5 幕府が開かれたころは朱印船貿易が行われていたが、キリスト教が幕府政治の妨げになると考え、スペイン船の来航を禁止。その後、島原・天草一揆をしずめた幕府はポルトガル船の来航も禁止し、鎖国体制を整えた。
- 6 出題されている絵は、キリシタンを見つけるために行っている、十字架や聖母マリア像などを踏ませる絵踏の様子である。ここでは「キリシタンを見つけるために絵踏をしている」ことが書いてあれば正解。

第3章 武家政権の展開と世界の動き③

p.32

Step 1

- 1 百姓 2 五人組 3 文治政治 4 新田開発
- 5 五街道 6 株仲間 7 近松門左衛門
- 8 菱川師宣 9 享保の改革 10 公事方御定書
- 11 寛政の改革 12 錦絵 13 本居宣長
- 14 『解体新書』 15 伊能忠敬

p.33-35

Step 2

- 1 兵農分離
- 2 百姓
- 3 ①, ㊦
- 4 ㊦, ㊥
- 5 文治政治
- 6 朱子学
- 2 ① 新田開発 ② 備中鉾 ③ 千歯こき
- ④ 特産物
- 3 ① 五街道
- 2 ㊦, ㊦
- 3 a 東海道 b 奥州道中
- 4 ① 大阪 ② 江戸
- 5 蔵屋敷
- 4 ① ㊦ ② ㊦ ③ ㊦ ④ ㊦ ⑤ ㊦ ⑥ ㊦
- 5 ① A 徳川吉宗 B 田沼意次 C 松平定信
- 2 享保の改革
- 3 上米の制
- 4 ㊦
- 5 寛政の改革
- 6 ① ㊦ ② ㊦ ③ ㊦ ④ ㊦ ⑤ ㊦ ⑥ ㊦

考え方

- ① 江戸時代の身分制度は、豊臣秀吉の兵農分離をさらに進め、武士と百姓・町人の身分を区別するしくみになった。
- ② 資料から百姓が最も多く、全体の8割を超えていることが読み取れる。
- ③ ㊦ 武士は名字(姓)を名乗ることができたので誤り。
㊥ 年貢を納めるのは百姓の身分なので誤り。
- ④ ㊦ 村の自治が進み、名主(庄屋)・組頭・百姓代などの村方三役には、村の有力者が就いたので誤り。
㊦ 農民には農地を持つ本百姓がいたので誤り。
- ⑤ ⑥ 徳川綱吉は学問や礼節を重んじる文治政治を行い、特に儒学の中でも主従関係や父子の上下関係を大切にする朱子学を重視した。
- ② 江戸時代になると最初の100年間で人口が約2.5倍に増加し、幕府は新田開発によって米の生産量を増やそうとした。また、農具の技術も進歩し、備中鉾や千歯こきなど、効率性のよい農具が開発された。
- ③ ① 江戸時代の陸上交通は、五街道とその他の脇街道とよばれる道路が整備され、各藩への移動や物資の輸送に使われた。
- ② ㊦ 全国に道路が整備され、都市が発達したので誤り。
㊥ 宿場町は街道沿いに発達したので誤り。
- ④ 特に町の発展が進んだ江戸、大阪、京都は三都とよばれた。
- ⑤ 大阪は商業の中心地で、全国から集められた年貢米や特産物が、蔵屋敷で販売された。
- ④ 17世紀末から18世紀初めにかけては元禄時代とよばれ、上方(大阪・京都)の町人が元禄文化を作り上げた。
- ⑤ ② ③ 8代将軍徳川吉宗は享保の改革を行った。幕府財政を立て直すための年貢米を増やすために新田開発を行い、上米の制を出した。

- ④ ㊦ 目安箱を設置したのは、徳川吉宗の享保の改革なので誤り。
 ㊧ 旗本や御家人の借金を帳消しにしたのは、松平定信の寛政の改革なので誤り。
- ⑥ 19世紀初めには文化の中心地が江戸に移り、庶民による化政文化が発達した。歌舞伎や落語、風景画などが人気を集めた。

p.36-37

Step 3

- ① ① A ⊕ B ㊦
 ② A ① B ㊧
 ③ 例 農具の改良と、幕府の新田開発の政策のため、米の生産量が増えていった。
- ② ① (元禄) A, C (化政) B
 ② A ① B ㊧ C ⊕
 ③ (元禄) ㊧ (化政) ⊕
- ④ 例 元禄文化は上方(大阪や京都)で栄え、化政文化は江戸で栄えた。
- ③ ① X 百姓一揆 Y 打ちこわし
 ② A 享保 B 寛政
 ③ ㊦, ①
 ④ ①, ㊧
 ⑤ 株仲間

考え方

- ① ① ② A は唐箕とよばれる農具で、人の力で風を起こして、米からもみからや玄米などを選別する。B は千歯こきで、一度にたくさんの稲などから茎を取りのぞくことができる。
- ③ グラフから「米の生産量が増加している」ことを読み取る。理由として「新田開発と農具の改良」について書いてあれば正解。
- ② ① ② 元禄文化の作品はA尾形光琳の屏風絵と、C菱川師宣の美人画である。Bは葛飾北斎の風景画で、化政文化の作品。
- ③ 元禄文化では『おくのほそ道』を書いた松尾芭蕉、化政文化では与謝蕪村が活躍した。
- ④ 元禄文化も化政文化も庶民(町人)が文化の担い手であったが、文化の中心地が異なる。ここでは「元禄文化は上方(大阪や京都)、化政文化は江戸で栄えた」ということが書いてあれば正解。

- ③ ① 飢きんなどで生活が苦しくなると、村では百姓一揆が起こり、都市では打ちこわしが起こった。発件数は百姓一揆が多い。
- ② 18世紀初めに行われたのが、徳川吉宗による享保の改革で、田沼意次の政治のあと、松平定信によって寛政の改革が行われた。
- ③ ㊧ 干拓工事や蝦夷地の開拓は田沼意次の政治の内容なので誤り。
 ㊨ 徳川吉宗は、日常生活に役立つ学問(実学)を奨励し、それまで禁止されていた洋書は、漢文に翻訳されていれば輸入できるようにしたので誤り。
- ④ ㊦ 公事方御定書が制定されたのは享保の改革なので誤り。
 ㊧ 松平定信は、朱子学以外の儒学を禁止したので誤り。
- ⑤ 老中の田沼意次は経済を立て直すために、商工業者たちの株仲間の営業権を認める代わりに税を納めさせた。しかし、賄賂が横行し、政策への批判が高まった。

第4章 近代国家の歩みと国際社会①

p.38

Step 1

- ① ピューリタン革命 ② 名誉革命 ③ 独立宣言
 ④ フランス革命 ⑤ 産業革命 ⑥ 社会主義
 ⑦ 奴隷解放宣言 ⑧ Aヘン戦争
 ⑨ 天保の改革 ⑩ 日米和親条約
 ⑪ 日米修好通商条約 ⑫ 桜田門外の変
 ⑬ 薩長同盟 ⑭ 大政奉還
 ⑮ 王政復古の大号令 ⑯ 戊辰戦争

p.39-41

Step 2

- ① ① 自由
 ② 名誉革命
 ③ イギリス
 ④ フランス革命
 ⑤ ナポレオン
- ② ① 産業革命
 ② インド大反乱
 ③ ビスマルク

③ ① A ㊦ B ① C ㊥

② 三角貿易

③ アヘン戦争
ナンキンじょうやく

④ 南京条約

⑤ ①

④ ① 工場制手工業
こうじょうせいしゅこうぎょう

② 大塩平八郎の乱

③ ① 天保の改革 ② 水野忠邦 ③ 株仲間
てんぼう かいかく みずの ただくに かぶなか ま

⑤ ① ペリー

② a, e

③ ① 日米修好通商条約
にちべいしゅうこうつうしやうじやうやく

② 関税自主権が無かった。

領事裁判権を認めた。

③ 桜田門外の変

⑥ ① 薩長同盟
さつちやうどうめい② 大政奉還
たいせいほうかん③ 戊辰戦争
ぼしんせんそう

④ A ㊦ B ㊦ C ㊥

考え方

- ① ① 17～19世紀，欧米では国王や支配身分を倒して，市民が主権者になろうとする市民革命が行われた。それぞれの宣言では「自由」という言葉が多く使われている。
- ② 権利の章典はイギリスの名誉革命の際，議会によって制定された。これ以後，国王は議会の承認がなければ法律の制定などができなくなった。
- ③ 18世紀半ばまでに，アメリカ東部にはイギリスからの移住者が13の植民地を作ったが，イギリスが植民地に新たな税を課すことを決定すると，植民地の人々はこれに反対し，アメリカ独立戦争が起きた。
- ④ 人権宣言はフランス革命で発表された。この革命で王政が廃止され，国民が法に従って国を統治する共和政が生まれた。
- ⑤ フランス革命後，周辺の王政をとっている国々は，革命が広がることを恐れフランスを攻撃したが，ナポレオンはそれらの国々を撃退し，後に皇帝となった。

- ② ① 18世紀終わりのイギリスでは蒸気機関が発明され，工業の原動力となっていった。その後，重工業も盛んになり社会が変化していった。この社会の変化を産業革命という。
- ② 経済力と軍事力をもとに海外進出を活発に行ったイギリスは，世界一の植民地を持つ大英帝国を築いた。イギリスに支配されたインドではインド大反乱が起こったが，イギリスに抑えられた。
- ③ 小国に分かれていたドイツではプロイセン王国が諸国を統一し，1871年，プロイセン王国の首相だったビスマルクによってドイツ帝国が誕生した。
- ③ ① ② イギリスはインド，清を相手に三角貿易を行っていた。イギリスは清から茶や絹を輸入していたが，支払いのための銀の不足をインドへの綿織物輸出でまかなうようになった。さらに，インド産のアヘンを清に密輸して，銀がイギリスに集まるようにした。
- ③ 清はアヘンによる中毒患者が増加したためアヘンの売買を禁止すると，イギリスは艦隊を派遣して清を攻撃し，アヘン戦争が始まった。
- ④ 清に勝利したイギリスは南京条約を結び，香港島やばく大な賠償金を得た。
- ⑤ 江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して，外国船を追い払う方針だったが，大国の清がイギリスに敗れたことで，幕府の力ではイギリスを追い払えないと考え異国船打払令を緩めた。
- ④ ① 19世紀になると，大地主や大商人の中に，農村から来た働き手を作業所（工場）に集める者が現れ，製品を分業で大量に仕上げるしくみが生まれた。これを工場制手工業という。
- ② 1837年の大塩平八郎の乱は，元幕府の役人が起こした乱であったため，幕府に衝撃を与えた。
- ③ 老中の水野忠邦による改革を天保の改革という。忠邦は株仲間による商品の独占が物価の上昇の原因だとして，株仲間を解散させた。

- 5 ① 地図中のXは浦賀(神奈川県)である。ペリーが来航すると、幕府内で開国すべきかを話し合い、翌年、日米和親条約を結び開国した。
- 3 ② 日米修好通商条約と同様の条約をヨーロッパの国々とも結んだが、幕府には関税自主権が無く、輸入品に自由な関税を設けることができなかった。また、領事裁判権を認めたため、日本にいる外国人が罪を犯しても、幕府の法律で裁くことができなかった。
- 6 ① 薩摩藩と長州藩は対立していたが、欧米の力の強さを知った両藩は、坂本龍馬らの仲立ちによって薩長同盟を結び、外国を追い払う攘夷ではなく倒幕へと動き出した。
- 2 倒幕運動が活発となるなか、15代将軍徳川慶喜は天皇に政権の返上を申し出た。これを大政奉還という。

p.42-43

Step 3

- 1 ① ① ピューリタン ② インド

③ ナポレオン

2 ① c ② a ③ b ④ d

3 権利の章典

5 産業革命

6 資本主義

7 社会主義

8 ドイツ帝国

- 2 ① ①, ②

2 ②

- 3 ① 例 大国の清がイギリスに敗れたため、異国船打払令を緩めた。

2 例 日本には関税自主権が無かったため。

3 徳川慶喜

4 王政復古の大号令

5 戊辰戦争

6 ②→①→④→③

考え方

- 1 ① ① 17世紀のイギリスでは2つの革命が起きたので混同しないようにしましょう。クロムウェルの指導で国王を処刑し、王政を廃止したのはピューリタン革命。国王を追放し、新しい王を迎えたのは名誉革命。

- 2 ① 「独立宣言」を発表したのはアメリカ独立戦争なのでc。

② 「議会を尊重する新しい国王を迎えた」のは名誉革命なのでa。

③ 「国王や大貴族中心の政治に不満を持つ人々が立ち上がった」のは、フランス革命なのでb。

④ 「奴隷解放宣言を出した」のは、南北戦争なのでd。

- 3 「国王は、議会の承認なく法律を停止することはできない」と定めたのは、名誉革命の権利の章典である。

4 フランス革命などの市民革命は、庶民が「自由」「平等」などの人権と、政治を行う「主権」を勝ち取る戦いだった。

5 6 産業革命が起こると、資本家が労働者を雇って利益を求める資本主義が成立した。

7 資本主義では、資本家は利益追求のために労働者を安い賃金で長時間働かせた。こうしたなか、マルクスらによって、労働者を中心に平等な社会を目指そうとする社会主義の考えが唱えられるようになっていった。

- 2 ① ㊦ イギリスは主に工業製品を輸出する国なので誤り。

㊧ アジアやアフリカの国々は植民地政策に反対の立場をとっていたので誤り。

2 欧米諸国は自分たちの利益のために、植民地に工業製品を買わせ、植民地には欧米諸国向けの農産品を作らせたため、産業が発達していかなかった。

- 3 ① ここでは「大国の清がイギリスに敗れた」とことと「異国船打払令を緩めた」ことが書いてあれば正解。

2 各国との通商条約では関税自主権が無かったため、輸入品に関税をかけることができず、安い製品が大量に輸入された。

4 徳川慶喜の勢力を追い出すために、王政復古の大号令が出された。

6 最初は尊王攘夷の考えが広まっていたが、薩摩藩と長州藩が外国の力を知ったことで、協力して倒幕に方針転換して、大政奉還に至ったことをおさえよう。

第4章 近代国家の歩みと国際社会②

p.44

Step 1

- ① 明治維新 めいじ いしん
- ② 廃藩置県 はいはん ちけん
- ③ 殖産興業 しょくさんこうぎょう
- ④ 徴兵令 ちゅうへいれい
- ⑤ 地租改正 ちそくせいせい
- ⑥ 文明開化 ぶんめいかいけ
- ⑦ 岩倉使節団 いわくらしせつだん
- ⑧ 征韓論 せいがんろん
- ⑨ 日朝修好条規 にっちょうしゅうこうじょうぎ
- ⑩ 屯田兵 とんでんへい
- ⑪ 西南戦争 せいなんせんそう
- ⑫ 国会期成同盟 こっかいきせいどうめい
- ⑬ 伊藤博文 いとうひろぶみ
- ⑭ 大日本帝国憲法 だいにっぽんていこくけんぽう
- ⑮ 帝国議会 ていこくぎかい

p.45-47

Step 2

- ① ①
- ② 五箇条の御誓文 ごかじょうごせいもん
- ③ 版籍奉還 はんせきほうかん
- ④ ① 廃藩置県 ② 県令 けんれい
- ② ① 地券 ちけん
- ② 地租改正
- ③ 官営工場 かんえい
- ④ 徴兵令
- ③ ① ア, ウ
- ② 3%から2.5%
- ③ ア, エ
- ④ ① 日清修好条規 にっしんしゅうこうじょうぎ ② 江華島事件 カンファド とうかどう
- ③ 日朝修好条規
- ④ 樺太・千島交換条約 からふと ちしまこうかんじょうやく
- ⑤ 沖縄県
- ⑥ 屯田兵
- ⑤ ① 民撰議院設立建白書 みんせんぎいんせつりつけんぱくしょ
- ② 自由民権運動 じゆうみんけんうんどう
- ③ 国会期成同盟
- ④ 西南戦争 りっせんかいしんとう
- ⑤ 立憲改進黨
- ⑥ A 板垣退助 いたがきたいすけ B 西郷隆盛 さいごうたかもり C 大隈重信 おおくましげのぶ
- ⑥ ① 大日本帝国憲法
- ② 伊藤博文
- ③ ドイツ (プロイセン)
- ④ 天皇
- ⑤ 帝国議会
- ⑥ 教育勅語

考え方

- ① ① 江戸時代までは、独自のやり方が認められた藩による政治が行われてきたが、明治政府は中央政府が直接全国を治める国づくりを目指した。
- ② 1868年、新政府は天皇が神々に誓う形で五箇条の御誓文を出して、政治の方針を示した。
- ③ ④ 藩を廃止するために、まず土地や人民を天皇に返す版籍奉還を行い、次に廃藩置県で全国に府県を置いて、府知事と県令（後の県知事）を派遣した。
- ② ① ② 写真は地券である。政府は地租改正を行って、地券に書かれた地租（土地にかかる税）を現金で納めさせた。
- ③ 政府は外国人技術者や学者を招いて、各地に官営工場を造った。
- ④ 「強兵」のために定められた法律は徴兵令である。満20歳になった男子から徴兵が行われた。
- ③ ① ① 一揆は全国で起こったので誤り。② 徴兵令反対一揆は西日本に多いので誤り。
- ② 各地の地租改正反対一揆によって、地租は1877年に3%から2.5%に引き下げられた。
- ③ ① の前島密は郵便制度を築いた人物、② の江藤新平は、裁判所などを設置して司法制度を整備した人物である。
- ④ ② ③ 1875年、日本の挑発に乗った朝鮮が江華島で日本の軍艦を砲撃したことを口実に、朝鮮にとって不平等な日朝修好条規を結ばせた。
- ④ 1875年にロシアと樺太・千島交換条約を結び、新たに国境を画定した。
- ⑤ 1895年に尖閣諸島は沖縄県に編入され、1905年には竹島も現在の島根県に編入された。
- ⑥ 蝦夷地は北海道と改称され、開拓と防備のために全国から移住者を集めた。これを屯田兵という。
- ⑤ ① ② 政府を去っていた板垣退助は専制政治を進める政府に対し、民撰議院設立建白書を提出し、国会開設を要求した。この動きによって自由民権運動が広まっていった。

- ③ 自由民権運動が高まるなか、各地の代表が大阪に集まり国会期成同盟が結成された。
- ④ 西郷隆盛のもとに、政府に不満を持つ士族が約4万人集まり、西南戦争を起こしたが、政府軍に敗れ、その後は言論による政府批判が中心となっていた。
- ⑥ ② ③ 伊藤博文はヨーロッパへ留学し、君主の権力が強いドイツ（プロイセン）の憲法を中心に調査をして、憲法草案を作った。
- ④ 大日本帝国憲法において主権は天皇にあり、多くの権限が天皇に置かれた。
- ⑤ 現在の国会にあたる議会は帝国議会でよぶ。帝国議会は貴族院と衆議院の二院制で、衆議院議員は国民の選挙によって選出された。
- ⑥ 教育勅語はその後の国民の道徳や価値観に大きな影響を与え、太平洋戦争が終わるまで国民教育の柱となっていた。

p.48-49

Step 3

- ① ① ① ㊦ ② ① ③ ㊦ ④ ㊦ ⑤ ㊦ ⑥ ㊦
- ② 富岡製糸場
- ③ ① 例 地租改正反対一揆が起きて、1877年から税率を下げたため。
- ② 例 年貢だと不作のときに収入が減ってしまうため。
- ② ① ① 日清修好条規 ② 日朝修好条規
- ③ 樺太・千島交換条約 ④ 沖縄県
- ② 征韓論
- ③ 江華島事件
- ④ 開拓使
- ⑤ 尖閣諸島
- ③ ① 大日本帝国憲法
- ② ①
- ③ 例 法律の範囲内で認められていた。
- ④ 帝国議会
- ⑤ ① 15 ② 25

考え方

- ① ① 明治維新の改革は、基盤整備と富国強兵政策の二本柱で整理しておこう。
- ② 資料Ⅰは官営の富岡製糸場である。政府は生糸を生産するため外国人技術者を招いて、近代的な設備の工場を建設した。

- ③ ① 1873年に行われた地租改正に対して反対一揆が起こったため、1877年に税率を3%から2.5%に引き下げた。ここでは「地租改正反対一揆が起きて、税率を下げた」ことが書いてあれば正解。
- ② 年貢は毎年の収穫量に応じて量が異なるため、政府の収入が安定しなかった。ここでは「年貢だと不作のときに収入が減ってしまう」ことが書いてあればよい。
- ② ① 清との日清修好条規は平等な条約であったが、朝鮮と結んだ日朝修好条規は、日本が一方的に領事裁判権をもつなど不平等な内容だった。
- ② 鎖国を続ける朝鮮に対し、武力に訴えてでも開国させようとする考えを征韓論とよび、西郷隆盛や板垣退助らが唱えた。
- ③ 政府は朝鮮を開国させるために軍艦を派遣し、朝鮮を挑発した。挑発に乗った朝鮮が砲撃をしたことを口実に、日朝修好条規が結ばれた。この砲撃事件を江華島事件とよぶ。
- ④ 政府は北海道に開拓使を置いて、農地の開墾や鉄道・道路の建設、都市づくりなどを進めた。
- ⑤ 1895年に沖縄県に編入された尖閣諸島は、現在、中国や台湾が領有権を主張している。
- ③ ① ② 大日本帝国憲法の草案を考える際、伊藤博文は権力が君主に集中しているドイツ（プロイセン）の憲法を参考にした。その結果、天皇が主権の大日本帝国憲法が完成した。
- ③ 資料の第29条には「日本臣民ハ法律ノ範囲内ニ於テ」言論や出版、集会などの自由が認められると書かれている。つまり、国民の自由は「法律の範囲内」という制限付きで認められたことになる。
- ④ 大日本帝国憲法における議会は帝国議会とよぶ。帝国議会は皇族や華族などからなる貴族院と国民の選挙で選ばれた衆議院の二院制が採られた。
- ⑤ 第1回衆議院選挙の有権者は、地租や所得税など直接国へ納める税金が15円以上の25歳以上の男性とされ、国民のわずか1.1%だった。

第4章 近代国家の歩みと国際社会③

p.50

Step 1

- 1 帝国主義 ていこくしゆぎ
- 2 陸奥宗光 むつむねみつ
- 3 日清戦争 にっしんせんそう
- 4 三国干渉 さんごくかんしやう
- 5 日露戦争 にちろ
- 6 小村寿太郎 こむらじゆたろう
- 7 韓国併合 かんこくへいごう
- 8 辛亥革命 しんがいがくめい
- 9 八幡製鉄所 はたせいてつしよ
- 10 財閥 ざいぼつ
- 11 田中正造 たなかしょうぞう
- 12 横山大観 よこやまたいかん
- 13 夏目漱石 なつめ そうせき
- 14 北里柴三郎 きたさとしばさぶろう

p.51-53

Step 2

- 1 1 帝国主義
- 2 ㊦
- 3 日英通商航海条約 にちえいつうしやうかうかいじやうやく
- 4 例 領事裁判権の廃止 りやうじ さいばんけん はいし
- 2 1 A ロシア B 日本 C 朝鮮 D 清 ちやうせん
- 2 甲午農民戦争 こうごのうみんせんそう
- 3 下関条約 りやうとん
- 4 遼東半島 りやうとう
- 3 1 ㊦
- 2 日露戦争
- 3 義和団事件 ぎわだんじけん
- 4 日英同盟 にちえいどうめい
- 5 ポーツマス条約
- 6 ㊦
- 4 1 伊藤博文 いとうひろふみ
- 2 韓国併合 かんこくへいごう
- 3 中華民国 ちゆうかみんこく
- 4 孫文 そんぶん
- 5 三民主義 さんみんしゆぎ
- 5 1 八幡製鉄所 はつぱんせいそ
- 2 財閥
- 3 ㊦
- 4 工場法
- 5 田中正造
- 6 ①㊦ ②㊦ ③㊦ ④㊦ ⑤㊦ ⑥㊦ ⑦㊦ ⑧㊦ ⑨㊦ ⑩㊦

考え方

- 1 1 19世紀後半以降、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカなどの欧米諸国は列強とよばれ、軍事力を背景に積極的に海外進出して自国を発展させようとしていた。これを帝国主義という。

- 2 ノルマントン号事件では、日本人は一人も救助されなかったが、日本は領事裁判権を認めていたため、イギリス人船長は軽い罪に問われただけで済んだ。
- 3 4 ノルマントン号事件で領事裁判権の廃止を望む世論が高まるなか、陸奥宗光はイギリスと日英通商航海条約を結び、領事裁判権の廃止に成功した。
- 2 1 絵はフランス人画家ピゴアの風刺絵で、朝鮮という魚を釣ろうとしている日本と清、それを横取りしようとしているロシアの様子が描かれている。
- 4 日清戦争後、日本が下関条約で得た遼東半島はロシアにとっても戦略上重要な位置にあったため、強硬に三国干渉を行ってきた。
- 3 1 幸徳秋水は日露戦争に反対を主張した社会主義者、内村鑑三はキリスト教徒の立場で戦争反対を訴えた。
- 3 清で外国勢力を追い払おうとする勢力が義和団事件を起こし、列強8か国が出兵したが、ロシアがその後も長くとどまり、満州を勢力下に置こうとした。
- 4 ロシアと対立するイギリスと結んだ日英同盟は、日本にとってロシアとの戦争の後押しとなった。
- 5 アメリカの仲介で講和会議が開かれ、ポーツマス条約が結ばれたが、日本は賠償金を得ることができなかった。
- 6 憲法を持ち、日清戦争と日露戦争で勝利した日本は、ようやく列強の一員となった。
- 4 1 韓国統監として派遣された伊藤博文は、韓国内での抵抗にあい、1909年に暗殺された。
- 2 1910年、日本は韓国を植民地とする韓国併合を行ったが、その後も日本の支配に対する朝鮮民衆の抵抗が続いた。
- 3 4 弱体化した清を倒そうとする動きが本格化し、1912年に孫文を臨時大総統とする中華民国が成立し、清は滅亡した。
- 5 1 八幡製鉄所は現在の福岡県北九州市に造られた工場で、日本の重工業の発展を支えた。
- 2 財閥には三井・三菱・住友・浅野・安田などがあり、産業経済界を支配するようになっていった。

- ③ 日本の産業革命は繊維工業などの軽工業から始まり、しだいに重工業へと移っていった。
- ④ 産業の発展とともに、賃金や労働時間などの労働問題が発生した。1911年に工場法ができて、労働時間制限や12歳未満の子どもの労働禁止などが決められたが、十分な内容ではなかった。
- ⑤ 田中正造は栃木県の政治家で、足尾銅山の操業停止を求め、天皇に直訴するなど、日本初の公害反対運動を行った。
- ⑥ 明治時代には伝統文化を見直す動きとともに、欧米文化を受け入れる動きが、芸術や文学の領域で進んだ。

p.54-55

Step 3

① ① ノルマントン号事件

② 陸奥宗光

③ ① 下関 ② ロシア、ドイツ、フランス

③ A

④ 例 日清戦争に敗れて、清の国力が衰えていたため。

⑤ ア

⑥ 韓国併合

② ① A ㊦ B ㊧ C ㊨

② ㊦ ③ 野口英世

④ 夏目漱石

⑤ 口語体

③ ① ① ○ ② × ③ × ④ ○

② 八幡製鉄所

③ 財閥

④ ① 工場法 ② 大逆事件 ③ 足尾銅山

考え方

- ① ① 1886年に起きたノルマントン号事件で、多くの日本人が救出されずに亡くなったにもかかわらず、日本の法律で裁けなかったことに対して、領事裁判権の廃止を求める世論が高まった。
- ② 陸奥宗光はイギリスと日英通商航海条約を結び、領事裁判権の廃止に成功した。

③ ① 戦後の講和条約の名前は、講和条約が結ばれた都市名が付く。日清戦争は下関、日露戦争はポーツマス（アメリカ）。

② ③ ロシア東部沿岸の港は冬の間は凍って使えないため、一年中使える遼東半島を手に入れたかった。

④ 日清戦争後、清の国力を知った列強は競って清に進出した。ここでは「日清戦争に敗れて、清の国力が衰えた」ことが書いてあれば正解。

⑤ 日本はロシアと対立するイギリスと日英同盟を結んで、ロシアと戦争を行ったので、㊦が正解。

② ① ② 三つの作品とも、それまでの日本の作品にはない、欧米から取り入れた写実性を生かした作品となっている。

③ 明治時代には学校教育も整備され、大学での研究も行われるようになった。野口英世は黄熱病の研究で世界に認められ、北里柴三郎はペスト菌を発見した。

④ ⑤ 文学の世界では、文語体をやめて口語体で書かれた小説が生まれた。

③ ① ② 日清戦争のころは、軽工業のほうが生産高の指数が高いので誤り。

③ 日露戦争後も軽工業の生産高は増えているので誤り。

② 官営の八幡製鉄所は1901年に操業を開始し、中国から輸入された鉄鉱石と筑豊炭田（福岡県）の石炭を使って鉄鋼を生産した。

③ 財閥はさまざまな分野の企業を経営し、産業経済界を支配するようになっていった。

④ ① 産業革命が起こると、利益を求める経営者は労働者を悪い条件で働かせたため、政府は工場法を定めた。

② 20世紀になると社会主義運動が行われるようになり、政府はこれを取り締まった。1910年、天皇暗殺を計画したとして、社会主義者数百名を逮捕し、幸徳秋水ら12人を処刑した。

第5章 二度の世界大戦と日本①

p.56

Step 1

- ① ヨーロッパの火薬庫 ② サラエボ事件
 ③ 二十一か条の要求 ④ ロシア革命
 ⑤ ベルサイユ条約 ⑥ 国際連盟 ⑦ 五・四運動
 ⑧ ワシントン会議 ⑨ 護憲運動 ⑩ 民本主義
 ⑪ 原敬 ⑫ 治安維持法 ⑬ 芥川龍之介
 ⑭ ラジオ放送

p.57-59

Step 2

- ① ① A ロシア B ドイツ C イタリア
 ② X 三国協商 Y 三国同盟
 ③ 日英同盟
 ④ バルカン半島
 ⑤ ア, ㊦
- ② ① 二十一か条の要求
 ② ドイツ
 ③ 南満州鉄道
 ④ レーニン
 ⑤ ソビエト社会主義共和国連邦
- ③ ① 民族自決
 ② ベルサイユ条約
 ③ 国際連盟
 ④ (朝鮮) 三・一独立運動
 (中国) 五・四運動
 ⑤ A ウィルソン B ガンディー
 ⑥ ワシントン会議
- ④ ① ① 護憲運動 ② 民本主義
 ② 米騒動
 ③ ① 原敬 ② 政党内閣
- ⑤ ① ①
 ② D
 ③ 治安維持法
 ④ ① 労働争議 ② 小作争議
- ⑥ ① ㉠ ② ㉡ ③ ㉢ ④ ㉣ ⑤ ㉤ ⑥ ㉦
 ⑦ ㉧

考え方

- ① ① Bはイギリス・フランスと対立しているドイツ。Cはオーストリアとの領土問題で、連合国側に移ったイタリアである。

② イギリスとドイツはともに海外進出を目指し対立していた。そこへ、利害が同じ国どうしが結び付き、三国同盟と三国協商ができた。

③ 日本とイギリスは、日露戦争が始まる前の1902年に日英同盟を結んだ。

④ 1914年、バルカン半島のサラエボでセルビアの青年によってオーストリアの皇太子夫妻が暗殺された。オーストリアはドイツの支援を受けてセルビアに宣戦布告すると、ロシア・フランス・イギリスがセルビア側に付いて第一次世界大戦が始まった。

⑤ ① 戦場はヨーロッパ以外のアフリカやアジアの一部にも広がったので誤り。

② 戦争は世界規模になり、多くの死傷者が出たので誤り。

② ① ② 三国協商側を連合国、三国同盟側を同盟国という。日英同盟を結んでいた日本は連合国側として参戦し、中国にあるドイツの拠点を占領し、中華民国に二十一か条の要求を示した。

③ 二十一か条の要求では、南満州鉄道の利権の期限を99か年延長するなど、中国にとって不利益な内容をほぼ認めさせた。

④ ⑤ 第一次世界大戦中、ロシアではレーニンの指導でロシア革命が起こり、1922年に社会主義をさらに進めた共産主義を目指すソビエト社会主義共和国連邦が成立した。

③ ① アメリカ大統領ウィルソンが民族自決の考えを訴えたことにより、アジア・アフリカで独立運動が活発になっていった。

② 第一次世界大戦の講和会議は1919年にパリで開かれ、ベルサイユ条約が結ばれた。

④ 民族自決がさげられるなか、朝鮮では三・一独立運動が、中国では五・四運動が起こり、日本をふくめた列強の支配を排除しようとした。

⑤ Bは非暴力・不服従運動を指導したインドのガンディーである。

⑥ 第一次世界大戦後、軍縮や国際協調の気運が高まり、ワシントン会議が開かれ、列強の主力艦(戦艦など)の保有量が制限された。同時に、日英同盟は廃棄された。

- ④ ① 大正時代になると、藩閥や陸軍の影響が強い政治に対して起こったのが、護憲運動である。吉野作造は民本主義を唱え、政治に民衆の考えを反映すべきだと訴えた。
- ② 富山県で始まった米騒動は、全国に広がり、軍隊も出動するさわぎとなった。
- ③ 1918年、立憲政友会の原敬は初めて本格的な政党内閣を組織した。
- ⑤ ① ② 1925年、加藤高明内閣のときに、25歳以上のすべての男性に選挙権を与える男子普通選挙が実現した。これによって、国民の約20%に選挙権が与えられ、有権者の数は1919年と比べて約4倍になった。
- ③ 男子普通選挙が実現した年に治安維持法も成立し、社会主義者を取り締まり、選挙活動などができないようにした。
- ④ ロシア革命や欧米の労働運動に影響され、日本でも労働争議や小作争議が行われるようになった。
- ⑥ 大正時代になると、大衆に向けた新しい文化がつくり出された。和風と洋風の造りを合わせた文化住宅に住むサラリーマンも登場した。

p.60-61

Step 3

- ① ① 日英同盟 ② 三国協商 ③ 三国同盟
④ サラエボ ⑤ 二十一か条の要求
⑥ B
② ① 護憲運動 ② 米騒動 ③ ア, ウ
④ 全国水平社 ⑤ 25歳以上の男性
⑥ 大正デモクラシー
③ ① ① レーニン ② ベルサイユ
③ ウィルソン ④ 民族自決 ⑤ 芥川龍之介
② ① ロシア革命 ② シベリア出兵
③ 例 アメリカとドイツ、ソ連が不参加だったため。
④ (朝鮮) 三・一独立運動
(中国) 五・四運動
⑤ 文化住宅

考え方

- ① ① Aはイギリスなので、日英同盟が正解。
② ③ 地図の連合国(三国協商側)と同盟国(三国同盟側)の色分けをヒントに考えよう。
- ④ ④ 地図中のXはバルカン半島のつけ根に位置するオーストリア領のサラエボである。
- ⑤ ⑥ 連合国側として第一次世界大戦に参戦した日本は、中華民国に二十一か条の要求を提示し、中国でドイツが持つ利権を譲るように要求した。
- ② ① 桂太郎内閣は陸軍や藩閥に支持されていたため、民衆の意見が反映されなかった。そこで、護憲運動が起こった。
- ② ロシア革命後、革命の広がりを防ぐために、アメリカや日本はシベリアに軍隊を派遣した。このシベリア出兵で米が大量に必要だと考えた商人が米を買い占めたため、米の価格が上がり米騒動が起こった。
- ③ 1918年、立憲政友会の原敬は、閣僚の多くを立憲政友会の党員が占める政党内閣を組織した。政党内閣は政治が進めやすく、安定していた。
- ④ 差別は社会問題として残されたままであった。差別された人たちは、自分たちで問題を解決するために全国水平社を結成した。
- ⑤ 1925年の選挙法改正で、直接国税の制限がなくなり、25歳以上の男性に選挙権が与えられた。しかし、女性には選挙権は与えられなかった。
- ⑥ 大正時代(1912~1926年)は、民主主義を求める社会運動が盛んに行われ、この風潮を大正デモクラシーとよぶ。
- ③ ② 第一次世界大戦中のロシアでは、戦争を続ける皇帝に対して民衆の不満が高まり、レーニンらが社会主義国家を成立させた(ロシア革命)。これに対し、日本やアメリカはロシア革命に影響されて、国内の労働運動や民族独立運動が活発になることを恐れ、シベリアに軍隊を派遣した(シベリア出兵)。
- ③ 国際連盟には、アメリカは議会の反対で参加せず、社会主義国のソ連や敗戦国のドイツは最初加盟を認められなかった。ここでは「アメリカとドイツ、ソ連が不参加だった」ことが書いてあれば正解。
- ⑤ 大正時代になると、文化住宅やラジオ放送など生活習慣の欧米化が進んだ。

第5章 二度の世界大戦と日本②

p.62

Step 1

- 1 世界恐慌
- 2 ニューディール (新規まき直し) 政策
- 3 ブロック経済
- 4 五か年計画
- 5 満州事変
- 6 五・一五事件
- 7 日中戦争
- 8 国家総動員法
- 9 第二次世界大戦
- 10 日独伊三国同盟
- 11 太平洋戦争 (アジア・太平洋戦争)
- 12 皇民化政策
- 13 原子爆弾 (原爆)
- 14 ポツダム宣言

p.63-65

Step 2

- 1 1 世界恐慌
 - 2 ① ニューディール (新規まき直し) 政策
 - ② ローズベルト (大統領)
 - 3 ブロック経済
 - 4 ① ヒトラー ② ファシズム
- 2 1 満州事変
 - 2 例 国際連盟を脱退した。
 - 3 五・一五事件 4 二・二六事件
- 3 1 ㊠ 2 日中戦争
 - 3 南京 4 国家総動員法
 - 5 大政翼賛会
- 4 1 A ドイツ B アメリカ
 - 2 第二次世界大戦
 - 3 日独伊三国同盟
 - 4 ① 日ソ中立条約 ② ㊠
- 5 1 真珠湾
 - 2 太平洋戦争 (アジア・太平洋戦争)
 - 3 大東亜共栄圏
 - 4 ミッドウェー海戦
 - 5 勤労動員
 - 6 学童疎開 7 沖縄
- 6 1 ① 広島 ② ソ連 ③ 長崎
 - 2 ポツダム宣言
 - 3 日ソ中立条約

考え方

- 1 1 アメリカで始まった世界恐慌は、アメリカから資金を借りたり、貿易をしたりしていたヨーロッパと世界中の国々に広がった。

- 2 3 A国はアメリカ、B国はイギリス。世界恐慌の不景気に対して、アメリカではローズベルト大統領によるニューディール (新規まき直し) 政策、イギリスやフランスではブロック経済を実施した。
- 4 C国はドイツ。ドイツとイタリアでは、世論がファシズム体制を支持し、日本もこれらの国と結び付きを強めていった。
- 2 2 満州事変が日本の不当な行動だとする国際連盟は、満州国を認めなかったため、日本は国際連盟を脱退し、世界から孤立していった。
- 3 4 国内では軍部が台頭し、二つの事件を通して軍部の勢力が大きくなっていった。
- 3 1 2 ㊠の柳条湖事件は満州事変、㊡の盧溝橋事件は日中戦争の発端となった事件なので、間違えないようにしよう。
- 3 南京は日本軍の南方からの進出拠点であったが、攻略の際、多くの民間人が殺害された (南京事件)。
- 4 5 戦争が長期化すると、日本ではすべての力を戦争に向けるため国家総動員法を定め、政党は大政翼賛会に吸収させた。これによって政党政治は終わりを告げた。
- 4 1 2 3 Aは日本、イタリアと日独伊三国同盟を結んでいるドイツである。Bは日本を経済的に孤立させようとした四か国のうちのアメリカである。
- 4 1941年、日本はソ連と日ソ中立条約を結び、北方の安全を確保したうえで、石油などの資源を求めて、フランス領インドシナ (ベトナムなど) の南部に進出した。
- 5 3 大東亜共栄圏の考えに、最初はアジア諸国も期待をしていたが、戦争が進むにつれて各地で抗日運動が起こった。
- 4 ミッドウェー海戦での敗戦以降、戦争の主導権は連合国軍が握り、日本領のサイパン島が占領されると、日本本土への空襲が始まった。

- ⑤⑥ 戦局が悪化すると、中学生や女学生は軍需工場で働くようになり（勤労働員）、大学生も徴兵されるようになった（学徒出陣）。また、小学生を空襲から守るため学童疎開が行われた。
- ⑦ 1945年、アメリカ軍が沖縄に上陸し、民間人を巻き込んだ戦闘が行われた。
- ⑧② 1945年7月、アメリカ・イギリス・中国（国民政府）の名前でポツダム宣言を出して、日本の無条件降伏を促した。
- ③ 1945年2月に連合軍はヤルタ会談を行い、ソ連が日ソ中立条約を破棄して対日参戦する密約を結んだ（ヤルタ協定）。

p.66-67

Step 3

- ①① 世界恐慌
- ② ニューディール（新規まき直し）政策
- ③ ブロック経済 ④ 昭和恐慌
- ⑤ 例 日本は、植民地が少なかったため。
- ⑥ ソ連（ソビエト社会主義共和国連邦）
- ⑦ 五か年計画
- ⑧① 満州事変 ② 日中戦争
- ③ 例 中国がアメリカ・イギリス・ソ連などの支援を受けて抵抗を続けたため。
- ④ （日本）か（ドイツ）い（ソ連）あ
- ⑤ ①イ ②ア ③ウ ④イ ⑤ア ⑥ウ
- ⑧①① 勤労働員 ② 学童疎開
- ②① 広島 ② 原子爆弾（原爆）
- ③① 国家総動員法 ② 配給制
- ④ 例 国民の戦意を高めるため。

考え方

- ①① グラフから1929年に始まった世界恐慌の影響で、約3年間、工業生産が減少していることがわかる。
- ②③ 不景気から抜け出すため、アメリカはローズベルト大統領によるニューディール政策、イギリスやフランスではブロック経済を敷いた。
- ④ 日本では関東大震災の影響もあり、1927年に金融恐慌が起り、追い打ちをかけるように1930年に昭和恐慌となった。

- ⑤ イギリスやフランスは多くの植民地との間で貿易を行えたが、植民地の少ない日本やドイツ、イタリアは景気回復のために他国侵略を行った。ここでは「植民地が少なかった」ことが書いてあれば正解。
- ⑥⑦ 社会主義国のソ連は五か年計画とよばれる計画経済を行い、世界恐慌の影響はほとんどなかった。
- ⑧①② 柳条湖事件は満州事変、盧溝橋事件は日中戦争の発端となった事件である。
- ③ 当初、日本政府は日中戦争を短期で終息させる目算だったが、長期化した。ここでは「中国がアメリカ・イギリス・ソ連などの支援を受けた」ことが書いてあれば正解。
- ④ アメリカ・イギリス・中国・オランダの頭文字をとったABCD包囲網に囲まれているかが日本。日本と日独伊三国同盟を結び、ソ連と独ソ不可侵条約を結んでいるがドイツ。あはソ連となる。
- ⑤② 満州事変の後、日本は国際連盟を脱退したので㉞。
- ④ 1940年、政党が戦争に協力するための組織に合流したので㉞。
- ⑤ 満州事変の後、議会政治を守ろうとした犬養首相が軍部に暗殺されたので㉞。
- ⑧③ 戦局が悪化すると、勤労働員で中学生や女学生は軍需工場で働くようになり、小学生を空襲から守るため学童疎開が行われた。
- ② 1945年8月6日に広島、9日には長崎に原子爆弾が投下された。長崎の原爆投下と同日、ソ連が満州と南樺太へ侵攻を開始したことを受け、14日にポツダム宣言を受け入れることを決めた。
- ③ Cの写真には「日本人ならぜいたくは出来ない筈だ！」と書かれている。国家総動員法によって、物資を優先して戦争に回す風潮が広まっていた。
- ④ 資料から、新聞が実際の戦況を正しく報道していないことがわかる。政府は新聞をふくむ出版物に検閲をかけ、各地の日本の敗戦は国民には伝えられなかった。ここでは「国民の戦意を高める」ことが書いてあれば正解。

第6章 現在に続く日本と世界

p.68

Step 1

- ① GHQ ② 農地改革 ③ 日本国憲法
 ④ 国際連合 (国連) ⑤ 冷たい戦争 (冷戦)
 ⑥ 日米安全保障条約 (安保条約)
 ⑦ アジア・アフリカ会議 ⑧ ベトナム戦争
 ⑨ 日中共同声明 ⑩ 高度経済成長 ⑪ 石油危機
 ⑫ マスメディア ⑬ マルタ会談
 ⑭ 非政府組織 (NGO)

p.69-70

Step 2

- ① ① 財閥解体 ② 農地改革
 ② ① 日本国憲法 ② 平和主義
 ③ 冷戦
 ④ 警察予備隊
 ② ① サンフランシスコ平和条約
 ② 日米安全保障条約 (安保条約)
 ③ アジア・アフリカ会議
 ④ 日ソ共同宣言
 ⑤ d 日韓基本条約 e 日中共同声明
 ③ ① 三種の神器
 ② 高度経済成長期
 ③ 川端康成
 ④ 石油危機
 ⑤ カラーテレビ
 ④ ① ① ⊕ ② ⊗ ③ ⊕ ④ ⊗ ⑤ ⊖
 ② 地球温暖化
 ③ 持続可能な社会

考え方

- ① ① 経済の民主化では、それまで日本の産業や経済を独占してきた財閥を解体し、農業では農地改革を行い、地主・小作制をなくして、自作農を増やす改革を行った。
 ② GHQの草案を基に、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の三つの柱を持つ日本国憲法が公布された。大日本帝国憲法では主権者だった天皇は、日本国および国民統合の象徴とされた。

- ③ アメリカを中心とする資本主義諸国とソ連を中心とする社会主義諸国が対立し、冷戦が始まった。両国は直接戦火を交えなかったため「冷たい戦争 (冷戦)」という。資本主義諸国を西側諸国、社会主義諸国を東側諸国ともいう。
 ④ 朝鮮戦争が始まると、GHQは日本政府に警察予備隊を作らせた。
 ② ① 冷戦が深まると、アメリカは日本を資本主義諸国に組み込むため、資本主義諸国中心の48か国とサンフランシスコ平和条約を結ばせた。この条約によって7年に及ぶ連合国による日本占領は終わった。
 ② サンフランシスコ平和条約と同時に、アメリカとは日米安全保障条約 (安保条約) を結んだ。これによって、日本は引き続きアメリカ軍基地を国内に置くことを認めた。
 ③ アジア・アフリカ会議とは、冷戦からの中立を求める国々などが集まり、植民地支配への反対や平和共存の路線を確認した会議である。
 ④ 日ソ共同宣言には、日本とソ連の国交回復、ソ連が日本の国際連合への加盟を支持することなどが盛り込まれた。
 ③ ① ② Aは高度経済成長の時期で、「三種の神器」とよばれる電気洗濯機・電気冷蔵庫・白黒テレビが普及し、国民の生活水準が急速に高まった。
 ③ 川端康成は1968年にノーベル文学賞を受賞し、他にも大江健三郎など、世界的に評価された作家が現れた。
 ④ 1973年、石油産地の中東で起こった戦争の影響で石油価格が上がり、日本などの先進国は大きな打撃を受けた。これを石油危機とよぶ。
 ⑤ カラーテレビ、乗用車、クーラー (エアコン) は、「3C」「新三種の神器」とよばれた。
 ④ ① ODAとは政府開発援助、NGOは非政府組織、ICTは情報通信技術の略称である。
 ② ③ 近年は、世界的にも環境問題を克服し、新しいエネルギー供給を考えるなど、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが重要となっている。

p.71-72

Step 3

- ① ① GHQ ② 20 ③ 財閥解体 ④ 農地改革
- ② 例 自作農の割合が増えて、小作農の割合が減った。
- ③ 日本国憲法
- ④ 象徴
- ② ① 湾岸戦争
- ② 同時多発テロ
- ③ 自衛隊
- ④ NGO
- ⑤ ①, ②
- ⑥ 例 原子力発電所の事故があったため。
- ③ ① ① ベルリンの壁 ② 冷戦
- ② ① サンフランシスコ平和条約
- ② 日米安全保障条約 (安保条約)
- ③ ① ○ ② ○ ③ ○ ④ ×
- ④ B → C → A

考え方

- ① ① GHQとは、れんごうこくぐんそうし れいぶ連合軍総司令部の略称。
- ② 戦後になって初めて女性にも選挙権が与えられ、国民の約半数が選挙権を持つようになった。
- ② 農地改革によって、政府が土地を小作人に売り渡した。ここでは「自作農の割合が増えた」「小作農の割合が減った」ことが書いてあれば正解。
- ③ ④ だいにっぽんていこくけんぽう大日本帝国憲法では主権者だった天皇は、日本国および国民統合の象徴とされた。
- ② ① 中東地域では冷戦後も紛争が絶えず、1991年には湾岸戦争、2003年にはイラク戦争が始まった。
- ② ニューヨークの同時多発テロで、アメリカはテロの首謀者しゅぼうしやをかくまっているとするアフガニスタンを攻撃した。
- ③ 日本は国際貢献こくけんの一環いつかんとして、自衛隊をPKO (国連平和維持活動) などのために国際派遣している。
- ④ 政府開発援助 (ODA) は、政府による海外援助だが、近年は民間団体やボランティアによる援助も行われている。これをNGO (非政府組織) という。

- ⑤ ⑦ 「日本からアメリカへ」の輸出額が「アメリカから日本へ」の輸入額を上回っており、日本の貿易黒字が続いているので誤り。
- ⑤ アメリカは貿易赤字が続いているので誤り。1988年に世界一の貿易黒字国になったのは、日本である。
- ⑥ 2011年の東日本大震災における福島第一原子力発電所の放射能もれの事故で、原子力発電所の危険性が問われた。ここでは「原子力発電所の事故があった」ことが書いてあれば正解。
- ③ ① 冷戦によってベルリンを東西に分けた「ベルリンの壁」は、冷戦の象徴とされた。写真は、1989年の壁の崩壊を喜ぶ人々の様子である。
- ② 1951年、日本は48か国とサンフランシスコ平和条約を結び、独立を回復した。同時にアメリカとは日米安全保障条約 (安保条約) を結んだ。これによって、日本は引き続きアメリカ軍基地を国内に置くことを認めた。
- ③ 写真は1964年に開かれた東京オリンピックの開会式。
- ④ ヨーロッパ連合 (EU) が発足したのは、1993年なので誤り。